

# いきいきマキコム

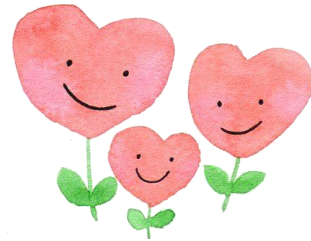
2020.6.10  
特別号

柏市社会福祉協議会  
介護予防センター  
〒277-0051 加賀3-16-8  
TEL 04-7170-5570

KAIGO-YOBOU KAIGO-YOBOU KAIGO-YOBOU

## 「会えなくても、集まれなくても。思いよ届け！！」 はじめよう！新たな地域づくり活動

介護予防センターから地域活動者にお届けしたマキコムや紙面介護予防講座は、自粛で人と人とが会えないなか「近所の人のために何かできることはないか？」との思いがある市内の方々によって、さまざまな思いと工夫をのせて活用されました。本誌では、その一部を紹介します。



ラジオ体操の時間を知りたいと町会の人から聞いていたので、ラジオ体操の記事を回覧に回し、喜んでもらえました。  
増尾地区

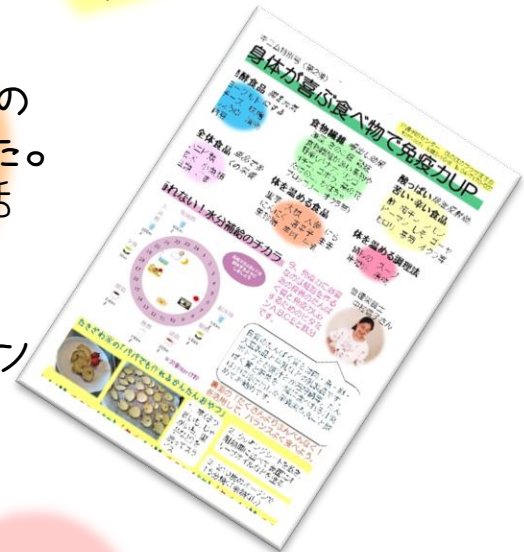
お茶でもいかがですか

栄養が偏っていないか心配だったので、栄養の記事を配りました。自分たちで作成した認知症予防ゲームの記事(スループ)もつけて配りました。「ありがとう」の声がうれしかったです。  
富勢地区

おしゃべりサロン三木の会



サロンに来ている人以外の高齢者宅へも配布しました。次にサロンで会うときの話題になるといいな。  
酒井根地区  
わらびヶ丘ふれあいサロン



みなさん、どうしているか心配だったので「いかがお過ごしですか？」と手紙を添えました。「本当に良かった」「てぬぐいでマスクを作りました」「動かないといけなかった」などの声をもらいました。  
田中地区

「あなたのことを忘れていない」「気にかけている」の思いをこめて配布しました。「ありがとう」の電話をくれる方や、LINEをくださる方もいてありがたい。

柏中央地区

若葉の会

ふれあいサロン呼塚

# はーとの距離を縮める声かけ

サロンの利用者さんや、お会いした方にお渡ししています。栄養を希望したのは、毎日食べたものを記録できると思ったから  
風早北部地区  
風早北部にここサロン

「お元気ですか？」とメッセージを書いたメモと、コロナ終息を願って折り紙も添えました。昨年12月に発足したばかりなので、「つながり」を絶やしたくなかった。  
高田・松ヶ崎地区  
ふる里カフェ



お守りかわりとして「アマビエ様の折り紙」をつけて配布しました。少しでも、気持ちをアップできればという思いでお渡ししました。  
高田・松ヶ崎地区  
和になろう会/サロンdeオリガミ



サロンボランティアのみんなと手分けしてポスティングしました。近くに住んでいる人が気にかけていれば、何かあったときに対応できると思う。  
新富地区  
はつらつサロン

介護予防センターでは、コロナ禍による疎遠が心配される期間中は、地域の縁づくりを応援するために「紙面介護予防講座」を定期的に発行していきます。紙面講座は介護予防センターほのぼのプラザますお、ボランティアセンターで受けとることができます。地域で渡すために複数必要な場合は、事前に用意いたしますのでご連絡ください。

ほのぼのプラザますお ☎7170-5570

東京大学高齢社会総合研究機構  
木村清一さんよりひとこと頂きました。

コロナ禍で「人との接触を減らすこと」がよいとされていますが、人とのつながりは私たちにとって最も大切なものです。そこで、柏社協では「マキコム特別号」を発行して多くのボランティアによるポスティングなど、各地域で工夫を凝らした活動が行われています。このような取り組みは、対面を避けながら、人とのつながりや関わりを続ける「新たな地域づくり活動」と言えます。



東京大学高齢社会総合研究機構  
客員研究員(元柏市保健福祉部長)  
木村清一さん